



三労発基 0617 第1号
津 気 防 災 第 9 号
令和 2 年 6 月 17 日

独立行政法人労働者健康安全機構
三重産業保健総合支援センター所長 殿



三重労働局長
(公印省略)

津地方気象台長
(公印省略)

気象状況と「新しい生活様式」を踏まえた熱中症の予防対策について

平素は、熱中症対策の推進につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、三重県下における令和元年の熱中症による休業4日以上之死傷災害は、過去最多となった平成30年と比較して減少したものの、過去2番目に多い発生となり、発生は高止まりの状況にあります。

また、令和2年5月25日発表の東海地方の向こう3か月（6月～8月）の天候の見通しでは、平均気温は平年より高くなることが予想されます。

さらに、本年は、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」を進めるうえで、「マスク着用による身体の負荷」、「マスクで顔が覆われていることによる体調異変の見逃し」、「換気による冷房効果の低下」、「テレワーク、作業時間の短縮による熱順化の変化」など例年に比べて、熱中症のリスクが高くなっているほか、「休憩室の利用時の3密（密閉・密集・密接）」も懸念されます。

熱中症の発生は、「環境」、「身体」、「行動」の三要因が考えられ、その中でも、環境要因である気温、湿度などを把握し、環境要因となる暑さ指数の低減化等を図ることは、熱中症予防において重要です。

つきましては、高温注意情報等（気象庁の熱中症ポータルサイト）の活用、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」及び「令和2年度の熱中症予防行動」により新型コロナウイルス感染症の予防との両立を図りながら、熱中症予防対策に取り組んでいただきますよう、要請いたします。

【熱中症予防資料】

三重労働局ホームページ 職場における熱中症を防ごう

(https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/20171219_00031.html)

気象庁熱中症ポータルサイト

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>)

スマートフォンQRコード

